

島中だより

教育目標
 学ぶ意欲にとみ
 心豊かで たくましい生徒

八戸市立島守中学校
 TEL 83-2011
 文責 校長 竹花 和人

節・節目を大切にしよう

校長 竹花 和人

※3月1日(火) 全校朝会での講話より

今日(3月1日)から3月3日まで、青森県内の高等学校の卒業式が行われます。私や教頭先生、高田先生で分担して、本校の卒業生が進学している高等学校の卒業式に参列して、卒業をお祝いしてこようと思っています。また、島守中学校を含めた多くの市内中学校の卒業式は12日に、島守小学校を含めた市内小学校の卒業式は18日か19日におこなわれます。もしかしたら、22日の学校もあるかもしれません。このように、3月は学校にとって卒業式という一つの大きな節目の月になります。

ところで、皆さんは「^{ふし}節」あるいは「節目」とは何かわかりますか。これは、もともとは「竹の節」のことです。竹には所々に盛り上がり横に線が入っているところがありますが、あの部分を節といいます。竹の節にはそれぞれ成長点があり、この成長点があるから、竹は天に向かってすくすくと成長するとともに、地面の中では横にどんどん伸びてゆき、自分の支配する土地を拡大させていきます。そして、竹は節があるからこそ、大雪や強風にあっても、全体が大きくしなることで衝撃を緩和しています。

このような竹の性質について、本田技研工業の創業者である本田宗一郎さんは、「竹には節がある。その節があるからこそ、竹は雪にも負けない強さをもつのだ。」という言葉を残しています。

私たちの生活の中にも、竹と同じように節・節目となるものがあります。運動会や文化祭などの学校行事であったり、定期テストやドリルテストであったりと、内容は様々ですが、この「節」となる経験があるからこそ、私たちは「すくすくと成長できる」と同時に、「困難に負けない強さ」も身に付けることができるのだと思います。

学校においては、このような「節」の中で最も大切なものが「卒業式」なのです。皆さんはすでに小学校でも一度経験していますが、小学校の卒業式と中学校の卒業式の大きな違いは、中学校は卒業した後の進路が一人一人異なっていることです。現在の39名で行う最後の学校行事がこの卒業式だということです。主役である3年生はもちろんですが、卒業生を見送る立場の1, 2年生もこの「節」によって大きく成長するものです。これから、短い時間ではありますが卒業式の練習が行われます。1回1回の練習を大切に、自分を成長させるようにしましょう。

^{ふし}節があるからこそ、竹は雪にも負けない強さをもつのだ。



1年間を振り返る生徒総集会

3月4日（金）に、生徒総集会が行われました。生徒自らの手で「より良い島守中学校」をつくっていくため、今年1年の生徒会や委員会の活動報告と、各部活動の活動報告、それに対する質疑応答を行い、自分たちの生活を振り返りました。

このような生徒自らが自分たちの中学校生活を改善していこうとする活動は、今話題になっている「主権者教育」としても考えることができると思います。自分たちが「島守中学校をより良いものにしていくのだ」という意識を育てることが、やがて八戸市や青森県、そして日本を「より良いものにしていく」ための行動へとつながるはずだからです。

生徒会役員を中心に、自分たちで生活を振り返りより良い生活に改善しようとする活動が、ますます充実することを期待しています。



ひな祭りの日のいい話

3月3日の朝に雪が降った際に、こくぞう委員会を中心として、生徒たちが自主的に雪かきを始めました。2年生からは「自分たちがやります」という受験間近な3年生を思いやる声が自然とあがりました。

島中生の優しい心が感じられました。



市中学生美術作品展 入選者

2月27日（土）28日（日）にはちちを会場に八戸市中学生美術作品展がありました。本校では以下の生徒の作品が展示されました。

- 絵画 1年：畑穂乃佳・館隼人・住澤祐人
3年：明戸花菜・織田浩次・山口茜
北山萌々香・川畑衛空・山田大陽
柳沢啓斗・林大成・金谷真吾
門口航・白石知優・林優夏
- デザイン 2年：林玲奈・坂本陽南・村松裕太
- 彫刻 特選 3年：石村康大 2年：犹守愛優
2年：松川雅哉・村松裕太・高畑梨那
畑内愛佳・林あずさ
3年：川畑衛空・中村裕貴・橋場猛
林大成・柳沢啓斗・山田大陽
明戸花菜・北山萌々香・林優夏
白石知優・針生真奈・村上さくら
山口茜



明日は「八戸市防災教育の日」

明日3月11日は、「八戸市防災教育の日」です。平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」の体験を風化させることなく、継続して児童生徒の防災意識を高めるために制定されたものです。

この防災教育の日には、本校でも全校集会を行い、震災当時の映像を見ながら震災について振り返るとともに、災害発生時に自分の命は自分で守ろうとする意識を高めるような指導を行う予定です。

また、この防災教育の日にあわせて、3月9日の給食の献立は「ホッとするカレー」でした。これは、災害などの不測の事態が発生して給食センターから通常の給食が提供できなくなった場合の代替食として備蓄されているレトルトのカレーを、防災教育の日に近い米飯給食の日提供するものです。この給食を食べながら、災害発生時の食の問題についても考える機会としました。

各家庭におかれましても、3月11日には東日本大震災のことを話題にしながら、災害発生時の各家庭の約束事などについて話し合っただけであればありがたく思います。